

やまこし復興交流館おらたる

1 階：観光情報、カフェ、ショップ

営業時間：午前 9 時から午後 5 時まで

山古志での一日の始まりに相応しい場所は、長岡市役所山古志支所の隣に位置するやまこし復興交流館おらたるです。さまざまなパンフレットやチラシが無料で用意されており、スタッフが訪問者のために地域の案内や、山村周辺の見どころをお勧めしています。やまこし復興交流館おらたるは、山古志の特色である色とりどりの錦鯉や、伝統的な方法で錦鯉を育てる棚田や池を楽しむのにも便利な場所です。入ってすぐの大きな水槽ではさまざまな色のパターンの錦鯉を見ることができ、復興交流館の裏にある展望台からは、村の棚田の美しい景色が見渡せます。

レンタサイクルも用意されており、山古志周辺の散策コースでは、日本語または英語のツアーやオーディオガイドを手配することもできます。事前に施設に連絡し、ガイドの空き状況を確認することをお勧めします。日によっては、工芸品のワークショップも手配できます。

1 階には小さなカフェ、ショップ、ミーティングスペースもあります。カフェのメニューは、カレーやうどん、ホットドッグなどの簡単なものから、ソフトクリームやパウンドケーキなどのスイーツ、コーヒーや紅茶などのドリンクがあります。売店では、地元の野菜や山菜、神楽南蛮（青唐辛子の種

類) などの地元の材料でできている特産品、手作り菓子、鯉をモチーフにしたギフト、刺繍が施されたボール(手毬)、ポストカードが販売されています。鯉をモチーフにした帽子や、遊び心のある写真を撮りたい人向けの看板も近くに設置されています。

階段に、山古志の冬の雪の深さを物語る壁のマークがあります。

2階：地震メモリアル施設

開館時間 午前 10:00～午後 4:00

施設の2階は、2004年10月23日土曜日に長岡とその周辺地域を襲ったマグニチュード6.6の中越地震に関する情報を展示した博物館です。この地震は、長岡全域にわたって建物、インフラ、そして生活に大きな損害をもたらしました。その影響は、現在でも市内的一部の地域に見られます。1階のカウンターで貸し出される日本語と英語のオーディオガイドで、詳細な解説を伝えています。

プロジェクトマッピングが地震の影響の範囲を示すために使用されており、住民のインタビューはタッチパネルを通じて見ることができます。ビデオにはさまざまな言語の字幕が付いており、すべての訪問者が災害の全貌を理解できるようになっています。災害後に何が起ったのか、地元住民がどのように避難したのか、村人たちが自慢の闘牛を必死に安全な場所まで空輸

し救おうとした様子、そして復興のためにどのような措置が取られたのかが紹介されています。

特に、避難を余儀なくされた山古志の住民のインタビューは感動的であり、災害後に故郷に

戻った人々の決意に満ちた精神を示し、山古志を存続させようとする強い意志が伝わってきます。

す。